

# 闘虎

No. 1 2  
Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
平成19年 秋季号



## 兄弟対決は突然に！

### 長島正彦・和幸、国体で史上初の兄弟対決

10月5～8日、秋田県五城目体育館において「第62回国民体育大会」が行われた。成年の部で長島正彦（おおたスポーツ学校事務局）と全日本王者・長島和幸（福島県・株クリナップ）の国体史上初の兄弟対決が実現。準決勝ながらテレビでも放映されるほど注目を集めた試合だった。正彦が2Pを獲るも僅差で敗れたが第3位入賞。少年では富塚拓也が本県からはその長島兄弟以来となる3冠を達成したほか、次の好成績で群馬県が総合第5位になる躍進振りを見せた。

- 【成年フリー】◇74kg級 ③長島正彦  
◇120kg級 ②米山祥嗣（k-POWERS）  
【成年グレコ】◇60kg級 ①松本隆太郎（日体大4年）  
【少年グレコ】◇66kg級 ①富塚拓也（関学大附高3年）  
◇84kg級 ②田村悠佑（館高3年）

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

## クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

### 第12回 大泉高校



#### 恩師高田裕司先生の母校 インハイ団体出場が夢！

昭和43年、現監督の長井保幸さんが生まれた年、大泉高校レスリング部が誕生しました。初代主将は日野重夫さん。日野さんが3年生の時、のちの不出世の大レスラー高田裕司さんが当時監督の野村圭二先生に誘われ入部。日野主将が手ほどきをしました。しかし、あまりの練習の苦しさに部員全員による大量離脱事件発生。日野主将が土下座をしてこれを引き止めましたが、このことはマンガ「ぐんまのスポーツ人物伝」にも描かれているほど有名なエピソードです。日野さんの土下座がなければ、高田先生も今のレスリング部もなかったでしょう。

さて、時代が流れ、今は高田先生の館高時代の教え子・長井保幸さんが3年前監督に就任。就任1年目にして8人もの部員が入りました。これも長井監督の人徳のなせる業でしょう。大泉高校の目標はインターハイ団体戦出場。過去1度だけあるそうです。個人戦では現主将で今年の全日本ビーチレスリング王者・木村龍巳選手が来年少有力で、個人戦でも実に久しぶりになります。

「レスリングを長く続けて将来に生かしてほしい」。恩師・高田先生が育った道場で、選手を見つめながら長井監督が語っていました。

## SCHEDULE

■天皇杯全日本  
レスリング選手権大会  
12月22日(土)・23日(日)  
代々木体育館

■館林市スポーツ少年団  
クラブ交流大会  
1月14日(月)  
館林市城沼総合体育館

■関東高校選抜  
レスリング大会  
2月2日(土)・3日(日)  
千葉県佐倉市体育館

■関東甲信越  
少年レスリング大会  
2月24日(日)  
館林市城沼総合体育館



川島義弘さん（館林市・38歳）

#### レスラーの夢 （思い出の一夜）

□この写真は、私（中央）が館林高校2年の春の全国選抜での1枚です。上野宏之先生からレスリング部に誘われました。それからレスリング漬けの毎日です。高田裕司先生から背中を叩いていただいた竹刀の一発も忘れられません。私たちの学年は団体で全国選抜3位、インターハイ3位に入賞しました。特にインターハイの準決勝、東京実業戦では高田先生が下から4階級全部勝つから、65kgから上は負けていい、光星学院戦で力出せとの指示でしたが、想定外に60kgの朝賀が敗れました。そこで65kgの私が関東王者と勝負した結果、フォール勝ちで準決勝進出！70kgの茂木とアップの仁田は東実戦はすぐ終わらせ、準決勝で王者・光星戦を全力で戦えたのです。今、私は館林JRで指導していますが、数あるスポーツの中からレスリングを選んだくれた子供たちと長く付き合いたいですね。



# HERO'S IN GUNMA



## 長島 正彦選手 (おおたスポーツ学校事務局)

正直、和幸とはやりたくなかったですね。兄弟という意識は周りがいうほどありませんでした。一人の対戦相手でしたね。でも、和幸は強かった。とても勝てそうな感じがしなかったですね。全日本でまた当たるかも知れませんが、今度は体調万全なので、国体のようにはいかないですよ。援護射撃？そんなことする気は毛頭ありません。自分だってオリンピック目指していますからね。



館高新主将として牽引した増谷剛

大会だけに、選手は気合十分。団体戦では、増谷剛新キャプテン率いる館林高校が昨年に続き優勝。個人戦では、激戦階級の50kg級は池田圭介が、福田翼が抜けた74kg級では遠藤竜也が優勝。関東で勝負をかける。団体戦の順位と各階級の優勝者は

## 小島彩暉鮮やかに優勝！ 柴崎世真も頭角現す！ 群馬県小学生総体

次のとおり。  
【団体戦】①館林高校 ②関学大附属 ③前橋西高校 ④富岡実業高校  
【個人戦】◇50kg級 池田圭介（館高） ◇55kg級 増谷剛（同） ◇60kg級 菊井悠介（前西） ◇66kg級 櫻井健人（館高） ◇74kg級 遠藤竜也（関学） ◇84kg級 齋藤拓哉（館高） ◇96kg級 木村龍巳（大泉） ◇120kg級 三輪佳正（館商工）

11月4日（日）、城沼体育館で「第31回群馬県小学生総合体育大会レス

## 木村政貴有終の3連覇！ 高校を見据えた試合！ 千代田近接少年レスリング大会

12月1日（土）、千代田町総合体育館において「第13回千代田近接少年レスリング大会」が行われた。「千代田の絶対王者」木村政貴が同大会

リング競技会」が行われた。東毛勢が優勝を占める中、小島彩暉（大間々）と藤生乙葉（同）の大間々勢が粘り強い戦いを見せ、優勝を飾った。また、「群馬の新しいクイーン」柴崎仁沙の弟・世真が頭角を現し出した。  
【小学5〜6年】◇30kg級 八山裕紀（千代田） ◇34kg級 寺田光輝（太田） ◇39kg級 桜井大輝（千代田） ◇45kg級 萩本龍（同） ◇51kg級 木村優太（千代田） ◇51kg級 堤琢真（館林）  
【小学3〜4年】◇24kg級 江田健二郎（館林） ◇34kg級 小島彩暉（大間々） ◇33kg級 戸ヶ崎海渡（館林） ◇39kg級 柴崎世真（同） ◇42kg級 鈴木芽衣（太田） ◇42kg級 鈴木舞衣（同） ◇42kg級 小林舞衣（同） ◇20kg級 藤生乙葉（大間々） ◇24kg級 高橋幸大（邑楽） ◇28kg級 石川弘人（同） ◇28kg級 西川真由（伊勢崎）  
【幼年】◇17kg級 日下部倅慎（館林） ◇21kg級 秋田朝陽（明和） ◇21kg級 佐々木颯斗（太田）



群馬レスリングに多大な貢献！

## レスリング県構築の礎！ 兵藤三郎氏大臣表彰！ 文部科学大臣表彰受賞祝賀会

3連覇を成し遂げ、中学では無敗でこの大会を卒業した。  
【中学生男子】◇59kg級 栗原吹（千代田） ◇66kg級 橋口光太郎（館林） ◇85kg級 木村政貴（千代田）  
【中学生女子】◇38kg級 木村安里（千代田） ◇59kg級 鈴木紅夏（太田）  
【小学5〜6年女子】◇58kg級 浜岡佑帆（伊勢崎）  
【小学3〜4年女子】◇45kg級 鈴木芽衣（太田）

11月25日（日）、ジョイハウス（館林市）において「文部科学大臣生涯スポーツ功労者表彰受賞祝賀会」が開かれた。谷津義男代議士始め総勢2百人を超える人でこの荣誉ある受賞を祝った。

# 松本篤史（日体大）新人戦春秋連覇！

## 東日本学生レスリング新人戦

11月21・22日、駒沢公園体育館において「東日本学生レスリング秋季新人戦」が行われた。新人戦といえば、かつて森田武雄さん（68世界王者・元館高監督）の名語録で「群馬を制した者は関東を制す。関東を制した者はインハイを制す。インハイを制した者は『新人戦』を制す。『新人戦』を制した者はインカレを制す。インカレを制した者は全日本を制す。全日本を制した者はアジアを制す。アジアを制した者は世界を制す」とあるように、強くなる過程におい



ハンガリー遠征でも一番練習していた松本篤史

## 神藤俊・佐々木颯斗優勝！ 上武洋次郎杯を獲得！ 邑楽町少年レスリング大会

11月18日、邑楽町体育館において「第3回上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会」が行われた。3回目ですっかり定着感のある同大会に県内外から多数のクラブが参加。その中で、神藤俊（邑楽）と佐々木颯斗（太田）の果敢なレスリングが目を見張り、最優秀に相当する上武洋次郎杯を獲得した。  
【中学生男子】◇62kg級 栗原吹（千代田） ◇68kg級 木村政貴（同）  
【中学生女子】◇46kg級 木村安里（千代田） ◇52kg級 金子和（同）



神藤俊（左）と佐々木颯斗（右）

## 館高またも団体優勝！ 激戦74は遠藤竜也V 群馬県高校新人大会

11月3・4日、城沼体育館で「群馬県高校レスリング新人大会兼関東高校選抜群馬県予」が行われた。関東、そして全国へとつながる大本の

◇52kg級 鈴木紅夏（太田）  
【小学5〜6年男子】◇34kg級 増山郁人（千代田） ◇45kg級 木村優太（同）  
【小学5〜6年女子】◇33kg級 坂本美奈実（大間々） ◇45kg級 高橋沙綾（邑楽） ◇45kg級 浜岡佑帆（伊勢崎）  
【小学1〜2年】◇20kg級 神藤俊（邑楽） ◇24kg級 高橋幸大（同）  
【幼年】◇17kg級 日下部倅慎（館林） ◇21kg級 佐々木颯斗（太田）

## なでしこGUNMAの

# レスクイーン



おおたスポーツ学校  
大関 蘭さん（中1）

小4のとき、テレビでアテネオリンピックを見て、吉田沙保里選手の強さ、かっこよさにあこがれて、私もレスリングをやろうと決心しました。レスリングは、甘い世界ではなかったです。こんなに練習が苦しいとは思いませんでした。でも、技がかかったとき、試合に勝ったときはとても気分よく楽しいと思います。それと、県内にたくさん友達ができたことが一番うれしいです。仲のいい子は伊勢崎スパークライズの浜岡佑帆さん。とても気が合います。目標は全国大会で優勝すること。それが、中学が高校か、いつかなえられるか分かりませんが、必ず！